

広報・教育部門

応募事例名

ホンモノのマンホールが当たる!? 沖縄県下水道マンホールスタンプラリー2018

応募団体名)沖縄県

応募事例の概要

沖縄県は、身近なマンホールから下水道へ興味を持ってもらうため、県内21市町村と協力し、8月1日から8月31日まで、マンホールスタンプラリーを開催した。県内各地にデザインマンホールのスタンプを設置し、集めたスタンプの数に応じて、オリジナルグッズをプレゼントした。

飛行機や船でしか行けない離島が3カ所あるにも関わらず、スタンプ15個以上を集めた参加者が156名、全22個のスタンプを集めた参加者が10名おり、**たくさんの方が参加した。**

参加者からは、「一緒にパンフレットをもらい、下水道について知る機会になった」や「スタンプと同じマンホールを実際に探したり楽しめました」などの声上がり、**スタンプラリーをきっかけに、マンホールや下水道に興味を持ってもらうことができた。**



←スタンプ用紙



←配布した
オリジナルグッズ

全22個のスタンプを集め、マンホールが当たりました!



15個のスタンプを集め、下水道ポロシャツが当たりました!



PRポイント

- ・離島を含めた県内21市町村と協力して開催することで、一部地域に限らず、**県全体の広報イベントとなり、広く下水道をPRすることができた。**
- ・スタンプラリーで興味を持った参加者が同じく実施した浄化センター見学会や大型商業施設におけるイベントに参加するなど、参加者が増えるきっかけとなり、**3つイベントを開催することで相乗効果をもたらした。**